



SONGS

平間至《忍野清志郎》「NO MUSIC, NO LIFE.」

2008年 6月-7月 ©Itaru Hirama

|主催| Bunkamura |企画協力| コンタクト

|協力| タワーレコード株式会社、

富士フィルム株式会社、平間写真館TOKYO

|後援| J-WAVE

ホールB (渋谷ヒカリエ9F)

ヒカリエホール

東京都渋谷区渋谷2丁目21-1 渋谷ヒカリエ9F
|開場時間| 11:00-20:00 (最終入場は19:30まで) |休館日| 未定

2023.7.8(土) — 8.23(水)

PHOTO

写真
平間至
展

Itaru Hirama Exhibition - PHOTO SONGS -

のうた



《ゆづ》「NO MUSIC, NO LIFE」 2017年 4月-6月



ロックな写真家であり続ける

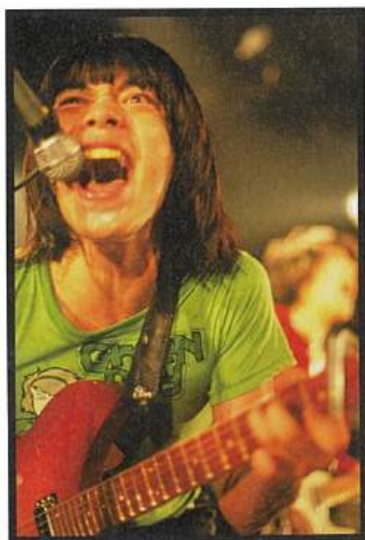


《畠野清志郎》「月刊 風とロック」 2005年 8月号



1枚の写真に生命の躍動を表現する

写真家・平間至による、《音楽が聴こえる》作品の集大成！



《峯田和伸(銀杏BOYZ)》「月刊 風とロック」 2006年

タワーレコードのキャンペーン「NO MUSIC, NO LIFE.」をはじめ数多くのアーティストを撮影し、「音楽が聴こえてくるような躍動感のあるポートレート」により、それまでにない新しいスタイルを打ち出したと評価される写真家・平間至(1963年～)。本展は<写真と音楽>をテーマに、2020年に写真家生活30周年を迎えた彼の初期作品から、「NO MUSIC, NO LIFE.」やCDジャケットのために撮影された膨大なアーティストのポートレート群など200点を超える作品を一堂に展示。ライフワークとして撮り続けている舞踏家・田中浜の<場踊り>シリーズや、「家族の記憶を紡ぐ場」として写真が大きな役割を果たすことを再認識できる平間写真館TOKYOで撮影された作品をはじめ、2022年に京都と六本木で開催され大きな反響を得た展覧会ラインナップに新作を追加・再構成し、この夏、渋谷からお届けします。

《Pippi, My dog》 1994年



《あいみよん》「NO MUSIC, NO LIFE.」 2020年 8月-10月

写真はすべて平間至 ©Itaru Hirama



《Yellow Magic Orchestra》「NO MUSIC, NO LIFE.」 2012年 7月-9月



《MOTOR DRIVE》 1991年



《MOTOR DRIVE》 1992年

平間至(ひらま・いたる)

1963年、宮城県塩竈市に生まれる。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、写真家・伊島薫氏に師事。タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」のキャンペーンポスターをはじめ、多くのミュージシャンの撮影を手がける。2006年よりゼラチンシルバーセッションに参加。2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画・プロデュース。2012年より塩竈にて、音楽フェスティバル「GAMA ROCK FES」を主宰。2015年1月、東京・世田谷の三宿に平間写真館TOKYOをオープン。

会場：ヒカリエホール ホールB(渋谷ヒカリエ9F)

東京都渋谷区渋谷2丁目21-1 渋谷ヒカリエ9F

料金：一般1,300円(1,100円)税込 ほか

お問合せ：050-6541-8600(ハローダイヤル)

※()内は前売料金。※チケット情報などは決定次第

Bunkamura サ・ミュージアムHPにてご案内いたします。

※同時開催の「ソール・ライターの原点」とのセット券も販売予定。

www.bunkamura.co.jp/museum

【同時開催】

「ソール・ライターの原点 ニューヨークの色」

会場：ヒカリエホール ホールA(渋谷ヒカリエ9F)

会期：2023年7月8日(土)～8月23日(水)



平間至展HP



Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

OMRON 鹿島 KIRIN 大和証券グループ ニッポン 東急グループ

みどころ

- 1 写真家の原点から、まだ見ぬ未来まで
— 平間至の半生を大解剖
- 2 未発表作品も多数公開！
「音楽が聴こえる」作品200点超の圧巻展示
- 3 雑誌・CD全盛期を築いた
アーティスト達の姿が今ここに蘇る！



PROFILE

平間至(ひらま・いたる)

1963年、宮城県塩竈市に生まれる。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、写真家・伊島薫氏に師事。タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」のキャンペーンポスターをはじめ、多くのミュージシャンの撮影を手がける。2006年よりゼラチンシルバースセッションに参加。2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画・プロデュース。2012年より塩竈にて、音楽フェスティバル「GAMA ROCK FES」を主宰。2015年1月、東京・三宿に平間写真館TOKYOをオープン。

入場料 (税込)	一般	大学・高校生	中学・小学生	平間至展×ソール・ライター展 セット券(一般のみ)
	1,300円 (1,100円)	600円	400円	3,000円 (2,500円)

(Special Ticket) 同時開催「ソール・ライター展」とのお得なセット券！

※オンラインチケット MY Bunkamuraでは、前売セット券のみの取扱い。
※当日セット券は当日窓口のみ取扱い。(ソール・ライター展非売品ポストカード付)

*大学・高校生、中学・小学生は当日券のみの取扱い(前売券の販売はございません) *カッパ内は前売料金。
*学生券をお求めの場合は、学生証のご提示をお願いいたします。(小学生は除く) *障がい者手帳のご提示で、ご本人様とお付き添いの方1名様は半額となります。(一般650円、大学・高校生300円、中学・小学生200円)
当日窓口にてご購入ください。セット券は割引対象外です。*未就学児は入場無料。

◎前売券 ロックの日
【販売期間】2023年6月9日(金)~7月7日(金)
【販売場所】オンラインチケット MY Bunkamura、東急シアターオーブ/Bunkamuraチケットカウンター(渋谷ヒカリエ2F/11:00~18:00)、チケットぴあ(Pコード:686-511)、ローソンチケット(Lコード:33115)、e+(イープラス)他

チケットは便利なオンラインチケット「MY Bunkamura」をご利用ください。
お得な前売券のほか、当日券の購入もチケット窓口にはばす便利！
MY Bunkamuraで購入すると当日券が100円引き。

【入場日時予約について】

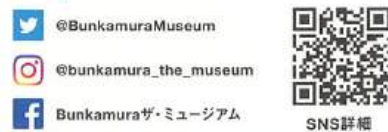
本展は会期中すべての日程で【オンラインによる事前予約】が可能です。ご予約なしでもご入場いただけますが、混雑時にはお待ちいただく場合がございます。ご予約方法等の詳細はBunkamuraHPにてご確認ください。



平間至展HP

要チェック/ザ・ミュージアムSNS

Bunkamura ザ・ミュージアムは休館中も渋谷ヒカリエを中心に、様々な会場で展覧会を開催します。今後「平間至展」のお知らせをはじめ、展覧会をより楽しんでいただける情報を発信していきます。ぜひフォローしてください！



会場:ヒカリエホール ホールB(渋谷ヒカリエ9F)

東京都渋谷区渋谷2丁目21-1

お問合せ TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)
[BunkamuraHP] www.bunkamura.co.jp

◎JR線・京王線の頭橋「渋谷駅」と2階連絡通路で直結◎東京メトロ銀座線「渋谷駅」と1階で直結
◎東急東横線・田園都市線・東京メトロ半蔵門線・副都心線「渋谷駅」B5出口と直結
※駐車場の詳細は渋谷ヒカリエのHPをご確認ください。www.hikarie.jp(ヒカリエホールのご利用は駐車場の割引サービス対象外です。)
※状況により、会期・開場時間等が変更となる場合がございます。

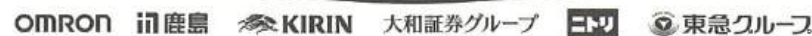


【同時開催】

「ソール・ライターの原点 ニューヨークの色」

会場:ヒカリエホール ホールA(渋谷ヒカリエ9F) 会期:2023年7月8日(土)~8月23日(水) ※休館日なし

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー



Bunkamura

ロックな写真家であり続ける



SONGS

平間至(忌野清志郎)「NO MUSIC, NO LIFE.」
2008年6月-7月 ©Itaru Hiramata
|主催|Bunkamura|企画協力|コンタクト
|協力|タワーレコード株式会社、
富士フィルム株式会社、平間写真館TOKYO
|後援|J-WAVE
ホールB(渋谷ヒカリエ9F)
ヒカリエホール
東京都渋谷区渋谷2丁目21-1 渋谷ヒカリエ9F
|開場時間|11:00-20:00(最終入場は19:30まで)|休館日|なし
2023.7.8(土)~8.23(水)

写真家の平間至展
Itaru Hiramata Exhibition - PHOTO SONGS -
のうた



SONGS

平間至《忌野清志郎》「NO MUSIC, NO LIFE.」

2008年 6月-7月 ©Itaru Hirama

|主催|Bunkamura|企画協力|CONTACT

|協力|タワーレコード株式会社、

富士フィルム株式会社、平間写真館TOKYO

|後援|J-WAVE

ホールB (渋谷ヒカリエ9F)

ヒカリエホール

東京都渋谷区渋谷2丁目21-1 渋谷ヒカリエ9F

|開場時間|11:00-20:00(最終入場は19:30まで) |休館日|未定

2023.7.8(土) — 8.23(水)

PHOTO

写真
平間至
のらた
展

Itaru Hirama Exhibition - PHOTO SONGS-

1枚の写真に生命の躍動を表現する

写真家・平間至による、「音楽が聴こえる」作品の集大成！



《光と影》大学課題 1984年

タワーレコードのキャンペーン「NO MUSIC, NO LIFE.」をはじめ数多くのアーティストを撮影し、「音楽が聴こえてくるような躍動感のあるポートレート」により、それまでにない新しいスタイルを打ち出したと評価される写真家・平間至(1963年~)。本展は「写真と音楽」をテーマに、2020年に写真家生活30周年を迎えた彼の初期作品から、「NO MUSIC, NO LIFE.」やCDジャケットのために撮影された膨大なアーティストのポートレート群まで200点を超える作品を一堂に展示。また、ライブワークとして撮り続けているダンサー・田中浜の(場踊り)シリーズや、「家族の記憶を紡ぐ場」として写真が大きな役割を果たすことを再認識できる平間写真館TOKYOで撮影された作品をはじめ、2022年に京都と六本木で開催された大きな反響を得た展覧会に新作を追加・再構成し、渋谷からお届けします。



《あいみょん》「NO MUSIC, NO LIFE.」2020年8月-10月



《Yellow Magic Orchestra》「NO MUSIC, NO LIFE.」2012年7月-9月



《サンボマスター》CD「サンボマスターは君に語りかける」2005年

- SONGS #1 原点
— いったい写真で何が出来るか？
- SONGS #2 仕事
— 写真で音楽を鳴らしたい
- SONGS #3 バックステージ
— すべては美しさのために
- SONGS #4 田中浜 場踊り
— 見えないものの象徴としての写真
- SONGS #5 平間写真館TOKYO
— 未来に向けて美しい記憶を残していく



《東京スカパラダイスオーケストラ》「NO MUSIC, NO LIFE.」2019年10月-12月



《岸田繁》「NO MUSIC, NO LIFE.」2017年4月-6月



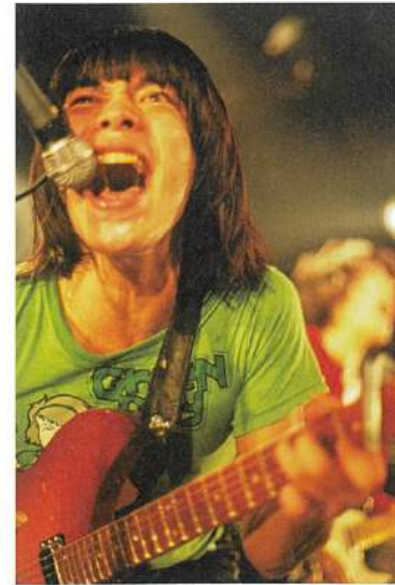
「ROCKIN' ON JAPAN 1992年5月号」表紙



《大橋トリオ》2015年



Itaru Hirama Exhibition - PHOTO SONGS -



《基田和伸(銀杏BOYZ)》「別冊 風とロック」2006年



《島野清志郎》「月刊 風とロック」2005年8月号



《勝手にしやがれオタギリジョー》「NO MUSIC, NO LIFE.」2006年10月



2023年



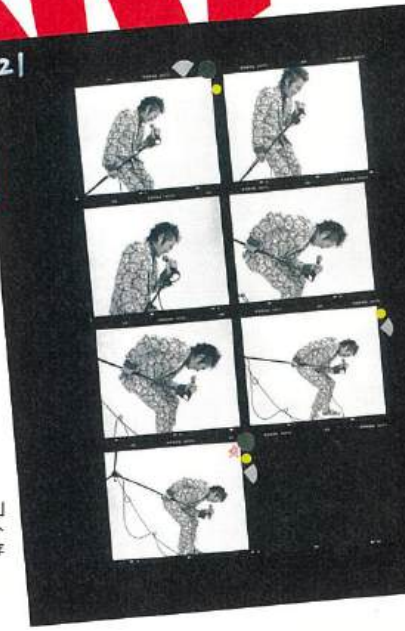
写真はすべて平間至 ©Itaru Hirama



下3点: 「CUT 1997年1月号」撮影時のメイキング写真 1996年



「NO MUSIC, NO LIFE.」撮影時のコンタクトシート 2008年



《高知飛橋原》2010年 田中浜(場踊り)より



《サンボマスター》CD「サンボマスターは君に語りかける」 2005年



ロックな写真家であり続ける

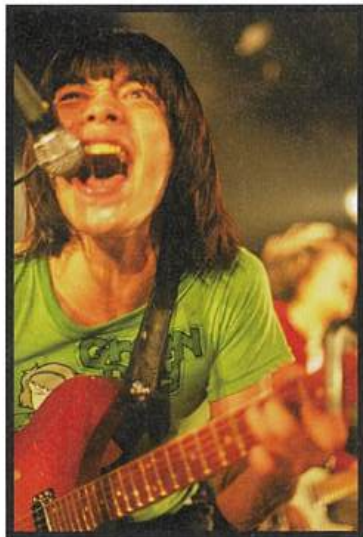


《志野清志郎》「月刊 風とロック」 2005年 8月号



1枚の写真に生命の躍動を表現する
写真家・平間至による、《音楽が聴こえる》作品の集大成!

ひら ま いたる



《峯田和伸(銀舌BOYZ)》「月刊 風とロック」 2006年

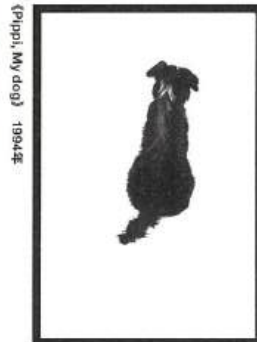
タワーレコードのキャンペーン「NO MUSIC, NO LIFE.」をはじめ数多くのアーティストを撮影し、「音楽が聴こえてくるような躍動感のあるポートレート」により、それまでにない新しいスタイルを打ち出したと評価される写真家・平間至(1963年〜)。本展は<写真と音楽>をテーマに、2020年に写真家生活30周年を迎えた彼の初期作品から、「NO MUSIC, NO LIFE.」やCDジャケットのために撮影された膨大なアーティストのポートレート群など200点を超える作品を一堂に展示。ライブワークとして撮り続けている舞踊家・田中涙の<場踊り>シリーズや、「家族の記憶を紡ぐ場」として写真が大きな役割を果たすことを再認識できる平間写真館TOKYOで撮影された作品をはじめ、2022年に京都と大本木で開催され大きな反響を得た展覧会ラインナップに新作を追加・再構成し、この夏、渋谷からお届けします。



《Yellow Magic Orchestra》「NO MUSIC, NO LIFE.」 2012年 7月-9月



《MOTOR DRIVE》1991年



《Puppu, My dog》1984年



《MOTOR DRIVE》1992年



《あいみょん》「NO MUSIC, NO LIFE.」 2020年 8月-10月

写真はすべて平間至 ©Itaru Hirama

平間至(ひらま・いたる)

1963年、宮城県塩竈市に生まれる。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、写真家・伊島薫氏に師事。タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」のキャンペーンポスターをはじめ、多くのミュージシャンの撮影を手がける。2006年よりゼラチンシルバセッションに参加。2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画・プロデュース。2012年より塩竈にて、音楽フェスティバル「GAMA ROCK FES」を主宰。2015年1月、東京・世田谷の三宿に平間写真館TOKYOをオープン。

会場：ヒカリエホール ホールB(渋谷ヒカリエ9F)

東京都渋谷区渋谷2丁目21-1 渋谷ヒカリエ9F

料金：一般1,300円(1,100円)税込 ほか

お問合せ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

※()内は前売料金。※チケット情報などは決定次第

Bunkamura ザ・ミュージアムHPにてご案内いたします。

※同時開催の「ソール・ライターの原点」とのセット券も販売予定。

www.bunkamura.co.jp/museum

【同時開催】

「ソール・ライターの原点 ニューヨークの色」

会場：ヒカリエホール ホールA(渋谷ヒカリエ9F)

会期：2023年7月8日(土)～8月23日(水)



平間至展HP



Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

みどころ

- 1 写真家の原点から、まだ見ぬ未来まで
— 平間至の半生を大解剖
- 2 未発表作品も多数公開！
「音楽が聴こえる」作品200点超の圧巻展示
- 3 雑誌・CD全盛期を築いた
アーティスト達の姿が今ここに蘇る！



PROFILE

平間至(ひらま・いたる)

1963年、宮城県塩竈市に生まれる。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、写真家・伊島重氏に師事。タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」のキャンペーンポスターをはじめ、多くのミュージシャンの撮影を手がける。2006年よりゼラチンシルバーセッションに参加。2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画・プロデュース。2012年より塩竈にて、音楽フェスティバル「GAMA ROCK FES」を主宰。2015年1月、東京・三宿に平間写真館TOKYOをオープン。

入場料 (税込)	一般	大学・高校生	中学・小学生	平間至展×ソール・ライター展 セット券(一般のみ)
	1,300円 (1,100円)	600円	400円	3,000円 (2,500円)

(Special Ticket) 同時開催「ソール・ライター展」とのお得なセット券！

※オンラインチケット MY Bunkamuraでは、前売セット券のみの取扱い。
※当日セット券は当日窓口のみ取扱い。(ソール・ライター展非売品ポストカード付)

*大学・高校生、中学・小学生は当日券のみの取扱い(前売券の販売はございません) *カッパ内は前売料金。
*学生券をお求めの場合は、学生証のご提示をお願いいたします。(小学生は除く) *障がい者手帳のご提示で、ご本人様とお付き添いの方1名様は半額となります。(一般650円、大学・高校生300円、中学・小学生200円)
当日窓口にてご購入ください。セット券は割引対象外です。*未就学児は入場無料。

◎前売券 ロックの日
【販売期間】2023年6月9日(金)~7月7日(金)
【販売場所】オンラインチケット MY Bunkamura、東急シアターオーブ/Bunkamuraチケットカウンター(渋谷ヒカリエ2F/11:00~18:00)、チケットぴあ(Pコード:686-511)、ローソンチケット(Lコード:33115)、e+(イープラス)他

チケットは便利なオンラインチケット「MY Bunkamura」をご利用ください。
お得な前売券のほか、当日券の購入もチケット窓口にはばす便利！
MY Bunkamuraで購入すると当日券が100円引き。

【入場日時予約について】

本展は会期中すべての日程で【オンラインによる事前予約】が可能です。ご予約なしでもご入場いただけますが、混雑時にはお待ちいただく場合がございます。ご予約方法等の詳細はBunkamuraHPにてご確認ください。



平間至展HP

要チェック/ザ・ミュージアムSNS

Bunkamura ザ・ミュージアムは休館中も渋谷ヒカリエを中心に、様々な会場で展覧会を開催します。今後「平間至展」のお知らせをはじめ、展覧会をより楽しんでいただける情報を発信していきます。ぜひフォローしてください！

Twitter @BunkamuraMuseum
Instagram @bunkamura_the_museum
Facebook Bunkamuraザ・ミュージアム

SNS詳細

会場:ヒカリエホール ホールB(渋谷ヒカリエ9F)

東京都渋谷区渋谷2丁目21-1

お問合せ TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)
[BunkamuraHP] www.bunkamura.co.jp

◎JR線・京王井の頭線「渋谷駅」と2階連絡通路で直結◎東京メトロ銀座線「渋谷駅」と1階で直結
◎東急東横線・田園都市線・東京メトロ半蔵門線・副都心線「渋谷駅」B5出口と直結
※駐車場の詳細は渋谷ヒカリエのHPをご確認ください。www.hikarie.jp(ヒカリエホールのご利用は駐車場の割引サービス対象外です。)
※状況により、会期・開場時間等が変更となる場合がございます。

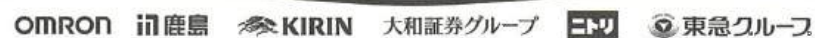


【同時開催】

「ソール・ライターの原点 ニューヨークの色」

会場:ヒカリエホール ホールA(渋谷ヒカリエ9F) 会期:2023年7月8日(土)~8月23日(水) ※休館日なし

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー



Bunkamura

ロックな写真家であり続ける



SONGS

平間至(忌野清志郎)「NO MUSIC, NO LIFE.」
2008年6月-7月 ©Itaru Hirama
|主催|Bunkamura|企画協力|コンタクト
|協力|タワーレコード株式会社、
富士フィルム株式会社、平間写真館TOKYO
|後援|J-WAVE
ホールB(渋谷ヒカリエ9F)
ヒカリエホール
|開場時間|11:00-20:00(最終入場は19:30まで)|休館日|なし
2023.7.8(土)~8.23(水)

写真家のつた
Itaru Hirama Exhibition - PHOTO SONGS -
PHOTO 展

僕にとってカメラは楽器！



SONGS

平間正 (足野清太郎) 「NO MUSIC, NO LIFE」
2008年6月-7月 ©Itaru Hirama
| 主催 | 郡山市立美術館
| 企画協力 | 株式会社コンタクト、
平間写真館TOKYO
| 協力 | タワーレコード株式会社、
富士フィルム株式会社

郡山市立美術館
郡山市安原町字本宮地130-2
| 開館時間 | 9:30-17:00 (最終入場は16:30まで)
| 休館日 | 毎週月曜(7/15(月)-祝日) / 12(月)-祝日 / 開館: 7/16(火) 8/13(火) 休館

2024.7.6(土) - 8.25(日)

PHOTO
平間正
展

写真のうた
Itaru Hirama Exhibition - PHOTO SONGS-

郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art

1枚の写真に生命の躍動を表現する 写真家・平間至による、「音楽が聴こえる」作品の集大成！

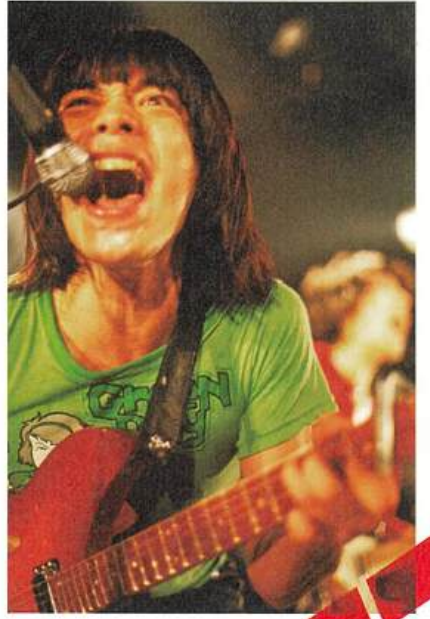


【光と影】大学課題 1984年

写真家・平間至はタワーレコードのキャンペーン「NO MUSIC, NO LIFE.」をはじめ、多彩なアーティストを描った「音楽が聴こえる」ような躍動感のあるポートレート」によって新しいスタイルを打ち出しました。宮城県塩竈市の写真館に生まれ、音楽に強い影響を受けて育った平間にとって「写真と音楽」は普遍的なテーマです。一方、故郷が甚大な被害に遭った東日本大震災を転機に写真館を開き、大切な記憶を紡ぐ写真を提供し続けています。本展ではアーティストたちのポートレートをはじめ、平間写真館TOKYOで撮影された作品群、幼い愛娘の日常写真、郡山市出身のクリエイティブ・ディレクター・箭内道彦とのコラボレーションから生まれた写真など約300点を展示します。多様なフィールドで写真の可能性を問い続ける、平間至の豊かな表現世界をぜひご覧ください。



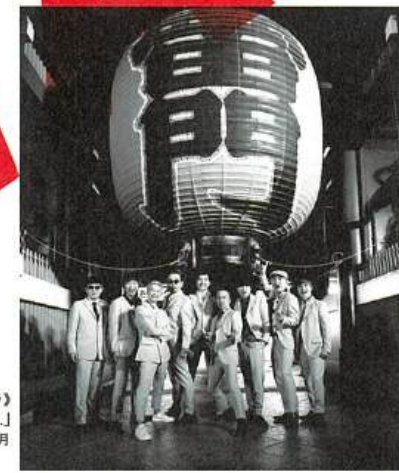
【家田和伸(銀杏BOYZ)】「別冊 風とロック」2006年



【Yellow Magic Orchestra】
「NO MUSIC, NO LIFE.」
2012年7月-9月



【Yellow Magic Orchestra】
「NO MUSIC, NO LIFE.」
2012年7月-9月



【東京スカパラダイスオーケストラ】
「NO MUSIC, NO LIFE.」
2019年10月-12月

- SONGS #1 原点**
- いったい写真で何が出来るか？
- SONGS #2 仕事**
- 写真で音楽を鳴らしたい
- SONGS #3 バックステージ**
- すべては美しさのために
- SONGS #4 田中泯 場踊り**
- 見えないものの象徴としての写真
- SONGS #5 平間写真館TOKYO**
- 未来に向けて美しい記憶を残していく

【サンボマスター】
CD「サンボマスターは君に語りかける」
2005年



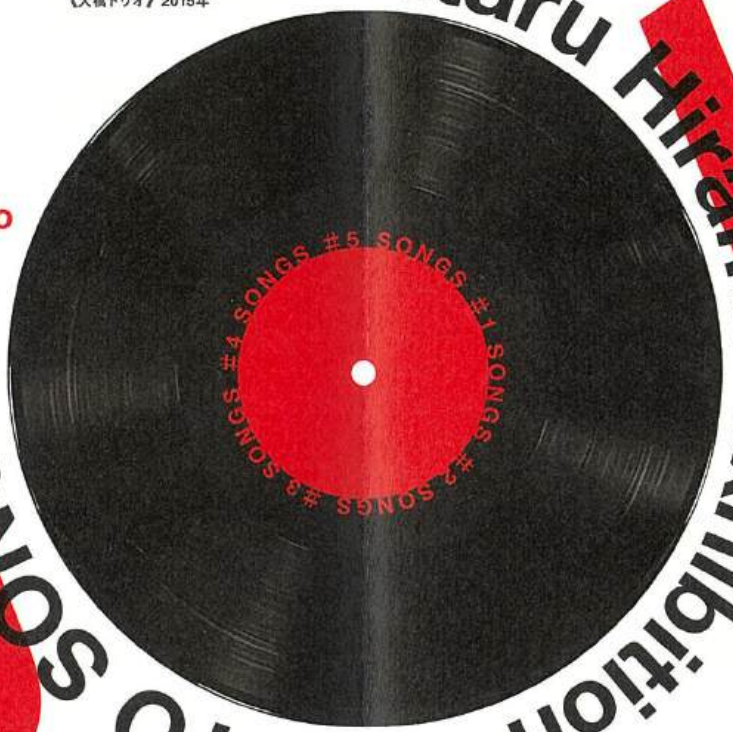
【岸田繁】
「NO MUSIC, NO LIFE.」
2017年4月-6月



【ROCKIN' ON JAPAN 1992年5月号】
表紙



【大根トリオ】2015年



Itaru Hirama Exhibition - PHOTO SONGS -



【怒野清志郎】「月刊 風とロック」
2005年8月号



2023年



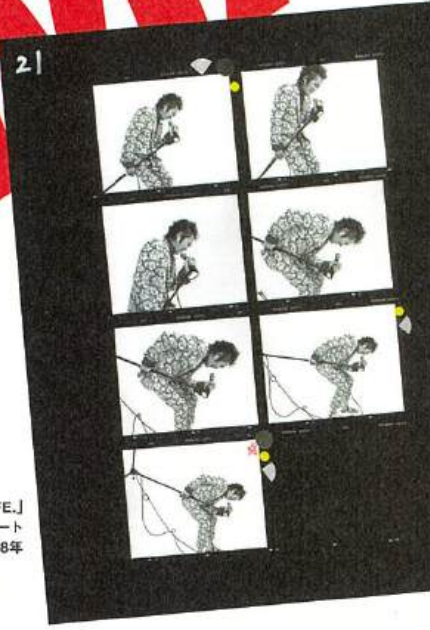
【勝手にしやがれるオダギリジョー】
「NO MUSIC, NO LIFE.」
2006年10月



下3点:
【CUT 1997年1月号】
撮影時のメイキング写真
1996年



【NO MUSIC, NO LIFE.】
撮影時のコンタクトシート
2008年



【高知県穂原】2010年 田中泯(場踊り)より



写真はすべて平間至 ©Itaru Hirama

SONGS #6 光景

一心のネガに光をあてる



1

SONGS #7 ミーナの世界&ミーちゃん

一写真は愛とタイミング



2



3

- 1 宮城県七ヶ浜 2010年
- 2 ミーちゃん 1998年
- 3 ミーナの世界 2004年

写真はすべて平間至 ©Itaru Hirama

PROFILE



©Itaru Hirama

平間至(ひらま・いたる)

1963年、宮城県塩竈市に生まれる。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、写真家・伊島薫氏に師事。タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」のキャンペーンポスターをはじめ、多くのミュージシャンの撮影を手がける。2006年よりゼラチンシルバーセッションに参加。2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画・プロデュース。2012年より塩竈にて、音楽フェスティバル「GAMA ROCK FES」を主宰。2015年1月、東京・三宿に平間写真館TOKYOをオープン。

観覧料

一般:1000(800)円
大学・高校生、65歳以上:700(560)円

※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

関連イベント情報

平間 至 スペシャルトーク

日時:7月6日(土) 午後2時から
場所:企画展示室内
※企画展チケットが必要です

トークイベント 平間 至×箭内 道彦 (クリエイティブ・ディレクター)

日時:8月4日(日) 午後2時から
場所:多目的スタジオ
入場無料

※事前申込みが必要です
※切 7月19日(金)



常設展のご案内

7月10日(水)~9月29日(日)

- 第1室:まなざし、その表情
- 第2室:大正という時代
- 第3室:郡山の彫刻家
- 第4室:①版画の技法と表現 ②工芸・デザイン・素材

郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市中原町字大谷地130-2
Tel. 024-956-2200 Fax. 024-956-2350
<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>

バス JR郡山駅前5番のりば
「美術館経由東部ニュータウン行」
「郡山市美術館」下車すぐ

乗用車 東北道「郡山南I.C.」磐越道「郡山東I.C.」より20分
駐車場130台



SONGS #6 光景

一心のネガに光をあてる



1

SONGS #7 ミーナの世界&ミーちゃん

一写真は愛とタイミング



2



3

- 1《宮城県七ヶ浜》2010年
- 2《ミーちゃん》1998年
- 3《ミーナの世界》2004年

写真はすべて平間至 ©Itaru Hirama

PROFILE



©Itaru Hirama

平間至(ひらま・いたる)

1963年、宮城県塩竈市に生まれる。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、写真家・伊島薫氏に師事。タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」のキャンペーンポスターをはじめ、多くのミュージシャンの撮影を手がける。2006年よりゼラチンシルバーセッションに参加。2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画・プロデュース。2012年より塩竈にて、音楽フェスティバル「GAMA ROCK FES」を主宰。2015年1月、東京・三宿に平間写真館TOKYOをオープン。

観覧料

一般:1000(800)円
 大学・高校生、65歳以上:700(560)円

※()内は20名以上の団体料金
 ※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

関連イベント情報

平間至 スペシャルトーク

日時:7月6日(土)午後2時から
 場所:企画展示室内
 ※企画展チケットが必要です

トークイベント 平間至×箭内道彦 (クリエイティブ・ディレクター)

日時:8月4日(日)午後2時から
 場所:多目的スタジオ
 入場無料
 ※事前申込みが必要です
 ※7月19日(金)



常設展のご案内

7月10日(水)~9月29日(日)

- 第1室:まなごし、その表情
- 第2室:大正という時代
- 第3室:郡山の彫刻家
- 第4室:①版画の技法と表現 ②工芸・デザイン・素材



郡山市立美術館
 Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
 Tel. 024-956-2200 Fax. 024-956-2350
<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>

バス JR郡山駅前5番のりば
 「美術館経由東部ニュータウン行」
 「郡山市美術館」下車すぐ

乗用車 東北道「郡山南1.C.」/磐越道「郡山東1.C.」より20分
 駐車場130台



僕にとってカメラは楽器！



SONGS

写真のうた
 Itaru Hirama Exhibition - PHOTO SONGS -

郡山市立美術館
 郡山市安原町字大谷地130-2
 開館時間 | 9:30~17:00 (最終入場は16:30まで)
 休館日 | 毎週月曜(7/15(月)祝/8/12(月)祝) 開館: 7/16(火) 9/19(火) 休館

2024.7.6(土) - 8.25(日)

企画展
招待

企画展 招待

僕にとってカメラは楽器！



2024.7.6(土) — 8.25(日)

郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art

休館日 | 毎週月曜

(7/15(月・祝)8/12(月・祝)開館、7/16(火)8/13(火)休館)

開館時間 | 9:30—17:00 (最終入場は16:30まで)

主催 | 郡山市立美術館 | 企画協力 | 株式会社コンタクト、平間写真館TOKYO

協力 | タワーレコード株式会社、富士フィルム株式会社

常設展
招待

本展会期中のみ有効